

ちえ 読書は智慧の宝庫

『アウシュビッツの子どもたち』 青木進々 著

強制収容所には「高さ 120 センチの横棒」があり、棒に頭があたらずに通りぬけた子どもはそのままたガス室に送られ殺されたそうです。

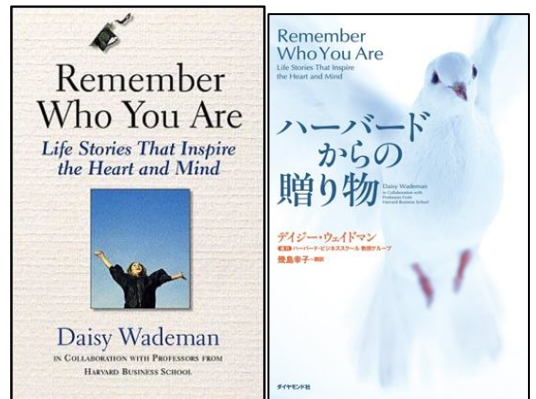
福島県の白河市にはアウシュビッツ平和博物館があります。ポーランド国立アウシュビッツ博物館から提供された関連資料や犠牲者の遺品が展示されています。博物館を訪れてみると「高さ 120 センチの横棒」は鉄棒のようなものでした。これが実際に子どもたちの選別に使われたのかと思うとあまりにも恐ろしく言葉がありませんでした。



『ハーバードからの贈り物』 デイジー・ウェイドマン 著

『Remember Who You Are』 Daisy Wademan

ハーバード・ビジネススクールの教授たちが語る人生訓を15篇収めた本です。ハーバード・ビジネススクールは、日本でいうと大学院にあたります。ここでは学期末の最終講義で、教授がこれまでの授業内容から離れて、自らの体験に基づいた訓話を学生たちに聞かせることが習慣になっています。タイトルの『Remember Who You Are』は「自分を見失わないで」という意味ですが、試練や成功、数々の失敗のエピソードは、私たちに精神のあり方や新しい物の見方を教えてくれます。



『必ず覚える1分間アウトプット勉強法』 齋藤 孝 著

皆さんの自学自習に役立つものと思いこの本を選んでみました。「アウトプット」という言葉は聞いたことがあると思いますが専門書とは違って、勉強の仕方だけでなく、限られた時間で要点をまとめることの大切さが分かりやすく書かれています。

学習の基本は「反復」です。このような「アウトプット」の活動も一定の期間を置いて繰り返し行うことが大切です。英語学習に関して言えば、文脈を通して学ぶことが効率良く、既に学んだ教科書の単語や重要な表現を復習してみてください。

